

# 舟入探究日誌 第16号 (12月18日)

皆さんこんにちは！探究道場担当のkです！私たちは、12月16日（土）に探究道場を舟入高校で開催しました。今回の探究道場は、『坂』をテーマにし、おむすびころりんのおじいさんが坂を転がるおむすびを楽に捕まえられるように、おむすびが坂をゆっくり転がるにはどのような細工にしたらいいのかを、参加してくれた中学生に探究していただきました。（今回はおむすびをピンポン玉で代用しました。）探究道場を終えて特に印象に残っているのは、中学生の自由な発想です。私たちも事前にこの探究をしていたのですが、中学生の細工を見た時にとっても自由で、大胆なアイデアに驚きました。今回の探究道場では、探究はもっと自由でいいんだ！と中学生からもたくさん学ばせてもらったなと思います。

そこで、今回の探究日誌では探究道場で得た発想の自由さの大切さを皆さんに伝えていきたいなと思いました。みなさんは学校の授業や、グループ活動などで答えを探すことを話し合いを充実させることよりも大切にしていますか？例えば、理科系教科においては理論（公式）を使うこと、特に国語のような答えのない問いでは模範解答を目指すことをまず、優先させていませんか？大体そのようにグループ活動をしてしまうと話し合いが充実しないどころか、理解できないまま話し合いがすぐに終わっているでしょう。みなさんもこのような経験があるのではないのでしょうか？しかし私は、理系や文系に関わらず、必ず答えに近づくためには過程が大切だと考えます。そして、過程とは自由な発想と思考によって生まれるものだと私は思っています。つまり、最初から答えを出すための固い思考では生まれないものだと考えます。昔の人も、現代でも、存在しないものを生み出すことができたのは、今ある最低限の知識や経験を活用して応用させ、それを何度も繰り返したり、証明するための手段をとったりしながら、見直しや改善をしたりするなどの過程を大切にしたらだと思えます。ぜひみなさんの学校のグループワークや生活などで生かして欲しいものです。

最後に、探究道場についてですが、探究道場は来年もテーマを変えて行う予定です。今回参加された人や、探究道場に興味がある人も、舟入高校に興味がある人も参加してみてください！！来年の探究道場はさらにレベルアップしていると思うのです楽しみにしておいてください！！

では次回の探究日誌で会いましょう！！